一般財団法人新潟県建設技術センター 平成30年度研究助成事業

新潟奉行所の復元及び観光資源としての活用の可能性に関する活動事業

事業寒績報告書

(要約版)

平成31年3月

特定非営利活動法人 美しい緑、水辺、大地を考えるフォーラム

目次

第1節	復元に向け課題となる費用・場所・観光資源としての活用方法の検討	2
第2節	新潟奉行所復元フォーラムの開催	3
第3節	新潟奉行所復元に係るウェブサイトの作成・管理	4
第4節	先行事例等現地調査の実施	5
第5節	資料・文献の収集	7
参考 格	分計結果概要	8

事業実績報告書

観光資源となる名所・旧跡が少ないと言われる新潟市において、幕末に配置された「新潟奉行所」を復元することを目指し、観光資源としての活用方法の検討と復元に向けた 気運の醸成のため「新潟奉行所復元フォーラム」を以下のとおり実施した。

第1節 復元に向け課題となる費用・場所・観光資源としての活用方法の検討

(1) 検討目的

新潟市は名所・旧跡などの観光施設が少ないと言われる。しかし、魅力ある街並みや旧家などが一部ではあるが遺されている。新潟奉行所を観光資源、観光スポットの中心的施設として復元し、観光拠点として既存の施設及び周辺地域と一体となる回遊性を踏まえた観光コースとすることで、地域を活性化することを目的とする。

(2) 検討手法

- ア 新潟市の観光の現状を整理
- イ 新潟市の観光振興に向けた取組を整理
- ウ 新潟奉行所復元の必要性と効果の検証
- エ 整備コンセプト及び新潟奉行所復元候補地の提案

(3) 検討結果

検討結果として新潟奉行所の復元及び観光資源としての活用の可能性に関する検討結果報告書をまとめた。

また、巻末に参考として検討結果概要を添付した。

■ 第2節 新潟奉行所復元フォーラムの開催

新潟奉行所復元に関する研究・活動成果の発信による復元気運の醸成と、新潟市の歴 史にとって重要な意味を持つ新潟奉行所の意義・背景を広く周知し、新潟奉行所を考え るきっかけとするため、新潟奉行所復元フォーラムを開催した。

(1)新潟奉行所復元フォーラム開催概要

ア 日時: 平成30(2018)年11月24日(土)午後2時開会

イ 場所:新潟市歴史博物館みなとぴあ セミナー室

ウ 内容:

(7) 基調講演

「新潟奉行所の建設過程について」

講師 新潟市歴史博物館学芸課資料管理担当課長

若崎 敦朗 氏

(イ) 講 演

「佐渡奉行所の復元から見えてくるもの」

講師 佐渡市役所世界遺産推進課指導員

濱野 浩 氏

(2)参加者

42名

(3) 当日の様子



基調講演講師の若崎敦朗氏



会場全体



講演講師の濱野浩氏



資料・模型展示コーナー

第3節 新潟奉行所復元に係るウェブサイトの作成・管理

新潟奉行所復元の課題及び活用方法等を地域へ発信するためのウェブサイトの作成・ 管理を行った。

(1)公開日 平成30(2018)年8月1日(水)

(2)URL http://midori-mizube-daichi.org/magistrates/

(3)内容 ア プロジェクト (新潟奉行所の復元) の目的

イ これまでの研究成果

ウ 3D モデルを利用した新潟奉行所の再現

エ これからの目標

(4)その他 新潟奉行所復元フォーラムの開催を告知した。





新潟奉行所復元に係るウェブサイト

第4節 先行事例等現地調査の実施

江戸幕府の奉行所・代官所を復元した佐渡奉行所跡(新潟県佐渡市)、箱館奉行所跡(北海道函館市)、水原代官所跡(新潟県阿賀野市)及びかつての幕府や諸藩の代官所・陣屋跡である椎谷陣屋跡(新潟県柏崎市)、柏崎陣屋跡(新潟県柏崎市)、曽根代官所跡(新潟市西蒲区)、出雲崎代官所跡(三島郡出雲崎町)について現況等の調査を行った。

4-1 先行事例現地調査

(1)佐渡奉行所跡

ア 日程:平成30(2018)年9月6日(木)

イ 場所: 佐渡奉行所跡(佐渡市相川広間町) ほか

ウ 調査の概要:佐渡奉行所の復元事業に関する情報収集及び佐渡市(旧相川地区)観 光の概況の把握のため

工 参加者: 関谷一義、船引一樹、岸克也

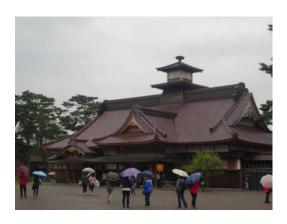
(2)箱館奉行所跡

ア 日程: 平成30(2018)年10月11日(木)~平成30(2018)年10月12日(金)

イ 場所:箱館奉行所跡(函館市五稜郭町)ほか

ウ 調査の概要:箱館奉行所の復元事業に関する情報収集及び函館市観光の概況の把握 のため

工 参加者 : 岸克也



復元された箱館奉行所建物



復元された佐渡奉行所建物

4-2 関係事例現地調査

(1)椎谷陣屋跡

ア 日程: 平成30(2018)年9月20日(木)

イ 場所:椎谷陣屋跡(柏崎市椎谷)

ウ 調査の概要:椎谷陣屋跡の現況把握のため

工 参加者:岸克也、佐藤育実

(2)柏崎陣屋跡

ア 日程: 平成30(2018)年12月26日(水)

イ 場所:柏崎陣屋跡(柏崎市大久保)

ウ 調査の概要:柏崎陣屋跡の現況把握のため

工 参加者: 関谷一義、船引一樹、岸克也

(3)水原代官所跡

ア 日程: 平成31(2019)年3月7日(木)

イ 場所:水原代官所跡(阿賀野市外城町)ほか

ウ 調査の概要:水原代官所の復元事業に関する情報収集のため

工 参加者:岸克也

(4) 曽根代官所跡

ア 日程: 平成31(2019)年3月7日(木)

イ 場所:西川ふれあい公園(新潟市西蒲区松崎)

ウ 調査の概要:曽根代官所跡の現況把握のため

工 参加者:岸克也

(5)出雲崎代官所跡

ア 日程: 平成31(2019)年3月15日(金)

イ 場所:出雲崎代官所跡(三島郡出雲崎町)

ウ 調査の概要:出雲崎代官所跡の現況把握のため

工 参加者: 関谷一義、船引一樹、岸克也、高橋皓一

4-3 その他

場所		年月日	調査の概要	
ア	新発田市歴史図書館	平成 30(2018)年7月25日	新潟御陣屋絵図の閲覧・複写	
1	新潟県政記念館	平成 30 (2018) 年 11 月 16 日	初代新潟県庁 (新潟奉行所) 写真の閲覧	
ウ	長岡藩主牧野家資料館	平成 31(2019)年 2月 6日	新潟町奉行所に関する情報収集	

第5節 資料・文献の収集

本事業の研究・活動に資する以下の資料・文献を収集した。

No.	資料名	種類	出版元(所有元)	備考
1	新潟市歴史博物館研究紀要	書籍	新潟市歴史博物館	
2	史跡高山陣屋図録	書籍	教育出版文化協会	
3	江戸建築と本途帳	書籍	鹿島出版会	
4	新潟今昔草紙	書籍	新潟風土記刊行会	
5	建築申請 memo2018	書籍	建築申請実務研究会	
6	大工頭中井家建築指図集	書籍	思文閣出版	

■ 参考 検討結果概要

- ・新潟市の観光入込客数は年間 1,800 万人で年々増加していたものの、観光客の約 65% がイベント等を目的とした日帰り観光であり、目的以外の滞在時間が短く、消費額が低いことが考えられた。
- ・新潟市は地域ブランド調査で他の地方拠点都市と比較して著しく低い評価であり、また、その深掘りとして活用した「首都圏居住者における全国都市ブランド力調査報告書」によれば、新潟市の結果は「イメージはない/わからない」の割合が高かった。一方、観光都市として知られる金沢市や京都市は「伝統がある」・「古風な」といったイメージが高かった。
- ・新潟市が発信する地域ブランドが低い理由について検証し、「古い歴史遺産が活用されていない」、「中心となる「まちのにぎわい」に欠けている」、「美しい景観にも乏しい」ことを挙げた。
- ・観光客の増加を効果的に市内に還元するためには、滞在時間や消費を受け止める観光 資源の創出が必要であり、そのためには「観光客が訪れたくなる地域ブランドの確立 や向上」、「観光客の増加を効果的に市内に還元するための滞在時間や消費を受け止 める"まちのにぎわい"や観光資源の創出」、「観光客が観光に求める要素のひとつ である伝統的建造物が残る町並みの創出」が必要とした。
- ・新潟市の観光振興に向けた取組み・検討と新潟奉行所復元の妥当性・整合性を検討するため市の「にいがた未来ビジョン」、「新潟都心の都市デザイン」を分析した結果、 双方で大きな乖離は見られず、新潟奉行所復元は新潟市の観光振興に向けた取組み・ 検討に合致する提案であった。
- ・新潟市の観光振興のために求められる都市像を「歴史資源等の観光スポット間の回遊性の強化による天領、湊町、開港五港といった都市ブランド力のあるまち」とし、新潟市でこの条件に当てはまるのは水運のまちとしての掘割再生が考えられるものの、費用対効果などの課題から困難であり、天領のまちとしての新潟奉行所の復元が妥当と結論づけた。
- ・奉行所を復元した函館市、佐渡市と新潟市古町地区に新潟奉行所を復元することを仮定し、他の観光スポットとの回遊性やターミナル駅などとのアクセスを比較検討した。 その結果、新潟市は他の2都市と比較して史跡や歴史資源等の観光スポットが多く残り、かつ集積していることから徒歩(まちあるき)での回遊性が高いと考えられる。 さらに、ターミナル駅である新潟駅からも近く、交通アクセスに優れていた。
- ・奉行所復元に資する資料として、箱館・佐渡の両奉行所及び水原代官所の復元状況を まとめるとともに、新潟奉行所建物のCAD図面を作成した。